



一般社団法人サーキュラーエコノミー推進機構

日本経済新聞に「CEO認定書授与式」の記事が掲載されました。

2019年5月21日

産学連携機構が育成

データ分析プロ
1期生19人認定

た43人のうち成績が優秀だった19人に授与。企業のデータ活用を担う中核人材として、交流促進の場を設けるなどして支援を続ける方針だ。

同機構は日立製作所やヤマトホールディングスなどの大手企業と国内の有力大学・研究機関が共同で2018年に設立した。企業が持つデータや経営課題を「教材」として活用し、実務にたじたデータサイエンティストの育成を目指している。

産学連携によりデータ分析の専門家「データサイエンティスト」の育成を目指すサイキョウエー・コノミイ推進機構(東京・渋谷)は20日、研修修了生を対象にした認定書の授与式を都内で開いた。初年度は研修を受け

20日は企業で7〜8週間のトレーニングを積んだ修了生が参加し、従事したプログラムなどについて報告した。京都大学大学院で国際関係学を学んだ高橋朝晴さんはJX

金属で携わった人工知能(AI)を活用して焼却炉の燃焼温度を予測する技術などを紹介。「現場との対話により多様な視点を持つことが大切と学んだ」などと述べた。当初9社が企画していたが、JR東日本やセブン&アイ・ホールディングスなども加わって理事会を務める企業は23社

まで増えた。今年度は6月に企業と大学が課題を持ち寄ってプログラムを検討する予定で「参加者を倍増させたい」(望月晴文理事長)としている。